



# 平成 17年 1月期 第1四半期業績の概況 (連結)

平成 16年 6月 7日

上場会社名 **ピジョン株式会社**

(コード番号:7956 東証第1部)

( URL <http://www.pigeon.co.jp/> )

問合せ先 代表者役職・氏名 代表取締役社長 松村 誠一  
責任者役職・氏名 執行役員経理部担当 高島 康

TEL (03) 3252 - 4114

## 1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

- ①会計処理の方法の最近連結会計年度における : 無  
方法との相違の有無
- ②連結及び持分法の適用範囲の異動の状況 : 有 連結 (新規)1社 (除外)1社

## 2. 平成 17年 1月期第1四半期の業績状況(平成 16年 2月 1日 ~ 平成 16年 4月 30日)

(1)経営成績(連結)の進捗状況 (注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しています。

	売上高	営業利益	経常利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %
17年1月期第1四半期	9,290 ( 15.2)	470 ( 12.3)	480 ( 41.9)
16年1月期第1四半期	8,064 ( —)	419 ( —)	338 ( —)
(参考) 16年1月期	34,156	2,651	2,504

	四半期(当期)純利益	1株当たり四半期(当期)純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益
	百万円 %	円 銭	円 銭
17年1月期第1四半期	336 ( 285.8)	16.81	16.76
16年1月期第1四半期	87 ( —)	4.37	4.35
(参考) 16年1月期	1,270	63.59	63.53

(注) 売上高、営業利益、経常利益、四半期(当期)純利益におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率

## (2)財政状態(連結)の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
17年1月期第1四半期	36,187	18,844	52.1	939.08
16年1月期第1四半期	30,800	17,591	57.1	880.11
(参考) 16年1月期	30,212	18,647	61.7	932.65

## (3)連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
17年1月期第1四半期	1,062	△ 2,943	1,776	3,118
16年1月期第1四半期	284	125	△ 1,050	2,508
(参考) 16年1月期	2,156	374	△ 2,427	3,223

## 3. 平成17年 1月期の連結業績予想(平成 16年 2月 1日 ~ 平成 17年 1月 31日)

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
中間期	19,800	1,110	680
通期	41,400	2,700	1,600

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 79円73銭

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としています。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

[ 経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的状況等 ]

当第 1 四半期におけるわが国経済は、好調な輸出と株価回復に支えられた企業業績の好転により、景気回復への期待が高まりましたが、個人消費につきましては回復基調にあるものの、確実なる回復の手ごたえを感じるまでには至っておりません。

このような経済環境の中で、当社グループは、中期経営計画「企業価値の創造 21」の最終年度として積極的な経営戦略の推進としてグループ事業体制の構築と攻めの販売戦略を展開いたしました。

その具体策として「育児事業」におきましては 2004 年 4 月米国において母乳関連用品では認知度の高い Lansinoh Laboratories, Inc. を当社の 100% 子会社といたしました。今後も出生数が増加しつづける北米マーケットの販売チャネルを確保したことにより、母乳関連用品の販売拡充が大いに期待できます。一方国内においては出生数の減少という厳しい環境の中にあっても、生活者に喜ばれる新商品の積極的な投入を図りました。具体的には厳選した郷土料理をベビー向けにアレンジし、ワンランクアップのベビーフード「新・和食シリーズ」を新発売いたしました。

子育て支援事業においては 4 月 1 日より独立行政法人となった全国の国立病院・国立療養所の院内保育園 116 ケ所の運営を受託いたしました。このことは当社グループの子育て支援事業のきわめて高い信頼を評価いただいた証となります。

「ヘルスケア事業」においては、全国の特別養護老人ホーム・老人保健施設等の施設向け介護用品の製造販売会社であります多比良株式会社を 2 月 2 日付けにて子会社化いたしました。これに伴い、介護用品の商品開発、生産、物流、販売すべての面で当社とのシナジーで育児事業に次ぐ第二の柱として成長させる事業規模が確保できました。

「その他事業」においては、デリケートな赤ちゃんを対象としている当社の開発力を反映させ、赤ちゃんを優先に考えるママのための化粧品「ママのメイクシリーズ」の新発売、さらにマタニティ向けインナーウェアを販売する子会社ピジョンウィル株式会社の業容拡大などで、売上を伸ばしました。

この結果、売上高は 92 億 90 百万円、営業利益 4 億 70 百万円、経常利益 4 億 80 百万円、四半期純利益は 3 億 36 百万円となり、計画どおり進捗いたしております。

[ 財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報等 ]

当第 1 四半期末の総資産は、361 億 87 百万円となりました。流動資産は、受取手形及び売掛金等が増加したこと等により 167 億 72 百万円となりました。また、固定資産は関係会社投資等により 194 億 15 百万円となりました。

負債につきましては、短期借入金・長期借入金等の増加により 170 億 5 百万円となりました。また、株主資本は 188 億 44 百万円となり、この結果、株主資本比率は 52.1% となりました。

(連結キャッシュ・フロー)

当第 1 四半期の営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益が高水準であったこと等により 10 億 62 百万円の増加となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、関係会社株式の取得等により 29 億 43 百万円の減少となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金・長期借入金の借入および返済による資金の増加等により 17 億 76 百万円の増加となりました。

以上の結果、現金及び現金同等物の当第 1 四半期末残高は、前連結会計年度末より 1 億 5 百万円減少し、31 億 18 百万円となりました。

[業績予想に関する定性的情報等]

平成 16 年 4 月 15 日に発表いたしました「米国ランシノ・ラボラトリーズ社の買収(子会社化)に関するお知らせ」の際に業績見通しを変更いたしておりますが、その後の変更はございません。

第1四半期連結(要約)貸借対照表

(注)千円未満切捨て

期 別 科 目	当第1四半期末		前第1四半期末		前連結会計年度	
	(平成16年4月30日現在)		(平成15年4月30日現在)		(平成16年1月31日現在)	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	構成比
(資産の部)		%		%		%
流動資産	16,772,465	46.3	13,913,817	45.2	14,416,767	47.7
固定資産	19,415,516	53.7	16,886,799	54.8	15,795,518	52.3
1.有形固定資産	13,542,286		13,675,116		13,034,510	
2.無形固定資産	1,477,884		653,232		637,585	
3.投資その他の資産	4,395,346		2,558,450		2,123,423	
資産合計	36,187,982	100.0	30,800,616	100.0	30,212,286	100.0
(負債の部)						
流動負債	12,998,111	35.9	9,543,591	31.0	8,871,615	29.4
固定負債	4,007,406	11.1	2,964,673	9.6	2,344,616	7.7
負債合計	17,005,518	47.0	12,508,264	40.6	11,216,231	37.1
(少数株主持分)						
少数株主持分	338,174	0.9	700,917	2.3	348,544	1.2
(資本の部)						
資本合計	18,844,289	52.1	17,591,434	57.1	18,647,510	61.7
負債、少数株主持分及び資本合計	36,187,982	100.0	30,800,616	100.0	30,212,286	100.0

第1四半期連結(要約)損益計算書

(注)千円未満切捨て

期 別 科 目	当第1四半期		前第1四半期		前連結会計年度	
	(自平成16年2月1日 至平成16年4月30日)		(自平成15年2月1日 至平成15年4月30日)		(自平成15年2月1日 至平成16年1月31日)	
	金 額	百分比	金 額	百分比	金 額	百分比
売上高	9,290,117	100.0	8,064,481	100.0	34,156,379	100.0
売上原価	5,721,785	61.6	4,778,436	59.3	20,317,691	59.5
売上総利益	3,568,332	38.4	3,286,045	40.7	13,838,688	40.5
販売費及び一般管理費	3,097,647	33.3	2,866,960	35.5	11,186,876	32.7
営業利益	470,685	5.1	419,085	5.2	2,651,812	7.8
営業外収益	113,598	1.2	108,962	1.4	332,362	0.9
営業外費用	104,121	1.1	189,755	2.4	479,269	1.4
経常利益	480,162	5.2	338,292	4.2	2,504,905	7.3
特別利益	150,667	1.6	287	0.0	157,264	0.5
特別損失	19,182	0.2	115,368	1.4	661,510	1.9
税金等調整前第1四半期 (当期)純利益	611,647	6.6	223,210	2.8	2,000,659	5.9
法人税、住民税及び事業税	403,299	4.3	98,810	1.2	389,555	1.2
法人税等調整額	160,504	1.7	7,433	0.1	238,767	0.7
少数株主利益	32,477	0.4	44,637	0.6	101,381	0.3
第1四半期(当期)純利益	336,375	3.6	87,196	1.1	1,270,955	3.7

第1四半期連結(要約)キャッシュ・フロー計算書

(注)千円未満切捨て

科 目	期 別	当第1四半期	前第1四半期	前連結会計年度
		(自平成16年2月1日 至平成16年4月30日)	(自平成15年2月1日 至平成15年4月30日)	(自平成15年2月1日 至平成16年1月31日)
		金 額	金 額	金 額
・ 営業活動によるキャッシュ・フロー		1,062,800	284,136	2,156,160
・ 投資活動によるキャッシュ・フロー		2,943,284	125,223	374,138
・ 財務活動によるキャッシュ・フロー		1,776,351	1,050,402	2,427,339
・ 現金及び現金同等物に係る換算差額		1,464	12,007	17,193
・ 現金及び現金同等物の増減額		105,597	629,034	85,766
・ 現金及び現金同等物の期首残高		3,223,703	3,137,936	3,137,936
・ 現金及び現金同等物の第1四半期(当期)末残高		3,118,105	2,508,902	3,223,703